「遺伝性心血管疾患の感受性遺伝子解析研究」にご参加いただいた皆様へ

国立大学法人 大阪大学 循環器内科学

当施設では倫理審査委員会の審査を受けて大阪大学総長の許可を受けている「遺伝性心血管疾患の感受性遺伝子解析研究」を実施しております。遺伝性心血管疾患の感受性遺伝子解析研究は、平成22年12月1日から行われている研究で、ご参加いただいた皆様より臨床情報や生体試料、遺伝子データを提供いただきました。

このたび、さらなる病態解明や治療法の確立のため、皆様からいただいた生体試料や臨床情報・遺伝子データを「洞不全症候群のプレシジョン医療実現化に向けたAll-Japanプロジェクト(J-PRES3)」で活用させていただくことになりました。

対象者に該当する可能性のある方またはその代理人で、生体試料や臨床情報・遺伝子データをJ-PRES3研究で活用することを希望しない場合は、下記の連絡先にお問合せください。

また本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問合せください。

【J-PRES3研究】

|  |  |
| --- | --- |
| 研究の名称 | 洞不全症候群のプレシジョン医療実現化に向けたAll-Japanプロジェクト（All Japan Precision Medicine Project for Sick Sinus Syndrome; J-PRES3） |
| 研究の目的 | 日本人洞不全症候群の遺伝的素因の解明とプレシジョン医療の実現 |
| 共同主任研究者 | 国立循環器病研究センタ― 研究所　副所長　蒔田直昌国立循環器病研究センター 分子生物学部　部長　大野聖子 |
| 研究期間 | 2018年3月29日～ |
| 利用する試料・情報の項目 | 生体試料、臨床情報、ゲノム情報（詳細は下記） |
| ホームページ | http://new.jhrs.or.jp/contents\_web/j-pres3/index.html |

1. 情報の共有・提供目的及び方法

情報をJ-PRES3研究に提供することで、今後多くの研究者の利用が可能になり、病気に苦しむ方々の診断や予防、治療等をより効果的に行うために役立つことが期待されます。

1. 共有・提供する試料・情報の項目

生年月日、性別、診断名、心電図等の臨床情報、血液またはゲノムDNA

1. 共有・提供する者の範囲

J-PRES3研究

4） 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

　　　　国立循環器病研究センター 分子生物学部　部長　大野聖子

5） 対象者に該当する可能性のある方またはその代理人で、臨床情報や遺伝子データをJ-PRES3研究で活用することを希望しない場合は、郵送（書留郵便）で受け付けいたします。

　〒565-0871　大阪府吹田市山田丘2-2

大阪大学大学院医学系研究科　循環器内科学講座内

「遺伝性心血管疾患の感受性遺伝子解析研究」事務局　朝野仁裕

以上